

2006年度（後期） 学生による授業評価アンケート調査  
「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏 名	重近啓樹
講義番号	1820A462		担当科目名	中国文明史 I
開講曜日	金 曜日	5・6	時限	専門科目
授業回数	15 回	休講回数	0 回	補講回数 回
受講登録者数	30 人	成績評価対象者数	30 人	授業放棄者数 0 人
成績評価に際し注意した事項				
レポートの内容・理解度、出席率				
報告内容				
<p>適度な人数による授業であり、熱心な受講生が多かったので、丁寧な授業展開が可能であった。問題・反省点としては、まず「授業開始・終了時間を守ること」、「話し方がいささか早く、声の聞き取りにくい点があった」等の指摘があり、今後これらの点に注意するよう努めたい。</p> <p>一方、「授業におけるシラバスの内容の反映」、「板書の読みやすさ」、「授業の主題・テーマの明確さ」等の点での評価が高かった。</p> <p>この授業では、中国の秦漢帝国時代を中心に、皇帝権を支えた官僚組織、軍隊やその時代的变化、東アジア世界の形成などについて、可能なかぎり最近の研究成果や新史料を紹介しながら検討した。あまりなじみがなく、やや難解な内容と感じられた部分もあったかもしれない。そこで出来るだけ理解を容易にするため、史・資料や地図などをプリントし、ビジュアルで生き生きとした授業となるよう努めた。この秦漢時代は、伝統中国の原型が形成された時期であり、日本とも深い関係を持っている。従って東アジアのどの地域、時代を考察する場合でも、基礎的な教養として知っておくべき内容も多い。今後とも主体的・積極的に学ぶ姿勢を期待したい。</p>				